

デルフィニウムを愉しむ

～癒やしの花で暮らしを彩る～

小さな花が
一面咲き誇る
デルフィニウム



豊橋が生産量日本一のデルフィニウムは、青系、紫系、ピンク系とさまざまな色合いを愉しめます。1本に小さな花がたくさん咲くので、華やかで存在感もあります。生産者・野口さんの想いやデルフィニウムアレンジなどを紹介します。写真はご夫人の明美さん(38歳)と長女の愛菜ちゃん(1歳9か月)。

「1本生けるだけで
華やかになりますね(紗斗子さん)」「もっと豊橋の人に
デルフィニウムを知ってほしいです(野口さん)」

紗斗子 デルフィニウムという花を、今回の取材を通して初めて知ったのですが、すごく素敵な色です!

野口 ライトブルーやピンク、白などの花が咲きます。色が違うだけで、花の印象も変わるので面白いですよ。

紗斗子 ライトブルーは大人なイメージ、ピンク色は可愛らしいですね。デルフィニウムの生産は豊橋が日本一と聞いたのですが、さすが豊橋! 花の栽培が盛んなんだなと改めて感じました。

野口 高品質に育てるために、徹底した管理のもとで育てています。そして、一つひとつ手作業で花を摘んだり、出荷したりと、手間暇かけて育て・生産しているのが、日本一の産地の特徴のひとつだと思います。

紗斗子 機械じゃなくて手摘みなんですね。花を摘んだ後、長持ちさせるための秘訣はあるんですか?

野口 デルフィニウム自体、風にとっても弱いんです。摘んだ後は、長く花を持たせるために、鮮度保持材に漬け込み、茎を水につけたまま市場まで運ぶ出荷方法を行っているので、冬場は10日ほどは楽しむことができます。

紗斗子 野口さんは、ご自宅ではどのようにデルフィニウムを飾っていますか?

野口 玄関に飾っています。1本でもボリュームがあるので、何本か生けるだけで空間のアクセントにもなります。花があることで、心の癒やしにもつながりますし、見るだけでホッとしますね。

紗斗子 1本置いておくだけで心癒やされますね。生活の中に花があることで、「花のお水を変えよう!」とか、手間をかけてあげたくないので、その気持ちが心のゆとりにつながるのかなと。花のある暮らしは、心が穏やかになりますね。

profile

クラストコ
楽しみ方
アドバイザー

05

野口高宏さん(37歳)

デルフィニウム農家2代目。
「愛情込めて育てた花たちです。冠婚葬祭など、あらゆるシーンで使うことができます」



紗斗子さんが生けた
デルフィニウム。
子どもの絵と並べて
空間をアレンジ。

デルフィニウム のある暮らし

実際に自宅でデルフィニウムを飾るとしたら…。
バツと華やかな空間が目を惹きます。

花びらを敷き詰めるだけで、まるでアートのように

ダイニングテーブル

使わなくなった大きな瓶に花を浮かべるだけでオシャレ。
2色取り入れてもよし。



使わなくなった瓶

たくさん生けてもお部屋の邪魔にならないデルフィニウム。

リビング

ジャム等の空き瓶を使ってデルフィニウムの花だけを散らしても素敵。

ジャムの空き瓶はラベルも活かして



小さな瓶で可愛らしく演出

階段

毎日のぼる階段だからこそ、ちょっとした癒やしを。
一輪挿しスペースを設けても◎

陶器の醤油差し



階段をのぼる度に心癒やされる

玄関に花を生けるだけで清潔感が溢れる



玄関

ゲストを迎える玄関は、デルフィニウムをたっぷり生けた花束でお出迎え。

花瓶に
たっぷり

壁

花の王冠のようにリースを壁にかけることで、空間のアクセントにもなる。

100均で購入した木のリース



ちょっとしたスペースにリースを



キッチン

小さな瓶を使ってさりげなさを演出。鮮やかな色なのでキッチンの彩りにも。

シャンパングラス

蕎麦ちよこ

使わなくなった
マグカップ

ワインの空き瓶